

輝け！シン尾花沢中

第63号

令和8年

6月30日

心ゆたかに たくましく 理想をうたう わが学園

ボランティアのやりがいや楽しさを実感！～MYボランティアスタートアップセミナー①～

27日（土）、イオンモール天童と天童市子育て未来館「げんキッズ」を会場に、「MY ボランティアスタートアップセミナー」が開催されました。尾花沢から上山までの村山地区内中学校からの参加者59名。そのうち約3分の1の22名が本校からの参加者です。

手作りのバルーンアートを幼児に手渡したり、「アンパンマン体操」を幼児と一緒に踊ったりして、小さな子供たちを笑顔にする活動に取り組みました。

校長通信では、4回にわたって参加した尾中生の振り返りを紹介します。

まず、イオンモール天童で活動した3年生の振り返りです。

斉藤さん：今回のボランティア活動で、子供たちはもちろん自分も楽しむような活動ができてよかったです。私は、前だけでなく奥や後ろにも目を配り、笑顔で対応することを意識しました。また、このようなボランティア活動があったら是非参加したいです。

早坂さん：ボランティアに参加したことで、たくさんの大人の方、子供たちに関わることができたことがとてもうれしかったです。バルーンをつくることは難しかったけれど、自分の作ったバルーンで子供たちを喜ばせることができてよかったです。

菅野さん：今回、初めて自主的にボランティアに参加して、他校の生徒と交流して共に学ぶことが楽しかったです。また、ボランティア活動により、人々が「ありがとう」とうれしそうな顔になってくれることがとてもうれしかったです。また参加したいと思いました。

高橋さん：風船を思い通りの形にするのが想像以上に難しくとても大変でした。しかし、作ったバルーンアートを子供たちに渡した時に、すごくうれしそうに喜んでくれたので、最後まで頑張ることができました。また、機会があれば参加したいです。

阿部さん：今回のボランティアを通して、いろいろなものを効率よく素早く作るのは大変だなと感じました。風船をねじったり、結んだりすることがとても難しかったです。力強くねじってしまうと風船がわれてしまうので「加減も調整しないといけない」と勉強になりました。作ることが大変でも、子供たちが「これほしい！」「ありがとう」と言ってくれたので「作ってよかったなあ」と感じました。将来、誰かを喜ばせる仕事に就きたいと思いました。



次号は、1年生の振り返りを紹介します。

【文責：校長 工藤雅史】